

平成21年3月4日
港湾局国際・環境課

APECポートサービスネットワーク(APEC Port Service Network)の ライザネック理事長の訪日について

概要

3月3日、APECポートサービスネットワーク(APEC Port Service Network)のライザネック理事長(カナダ)、リンジャン副事務総長(中国)ら4名が、国土交通省須野原港湾局長を表敬訪問しました。APECポートサービスネットワークとは、ウェブサイトの立ち上げ、刊行物の発行、シンポジウムの開催等による情報交換の促進といった活動を通じて、APEC域内における港湾等関係者(公的セクター、民間セクターを含む)のネットワーク構築を目指す取組みで、中国政府の提案でAPEC交通ワーキンググループにおいて設置されました。これまで、APEC首脳会談、APEC交通大臣会合からの支持を得て進められており、昨年9月の第31回APEC交通ワーキンググループ会合で正式に発足し、日本からは、港湾局技術基準審査官村岡猛がAPSNの日本代表理事としてAPSN活動に参加しています。

今後、同ネットワークは、本年5月の特別会合をスタートとして、9月には港湾保安ワークショップの開催、11月にはAPEC港湾開発会議(仮称)の開催などの様々な活動を予定しています。

今回の訪日は、日本における活動普及、会員増強などのプロモーション活動の一環として行われたもので、国際港湾協会(IAPH)、日本港湾協会、横浜市港湾局、東京都港湾局などを訪問し、本年5月にカナダのバンクーバーで開かれる同ネットワークの特別会合への参加を呼びかけました。一行は、今後、韓国、シンガポール、タイなどへ順次プロモーション活動を行います。

なお、5月の特別会合は事前に登録をすれば官民を問わずどなたでも参加できます。APSNにご関心のある方は、国土交通省港湾局国際企画室の以下の担当までお問い合わせください。



(左:須野原港湾局長、右:ライザネック APSN 理事長)

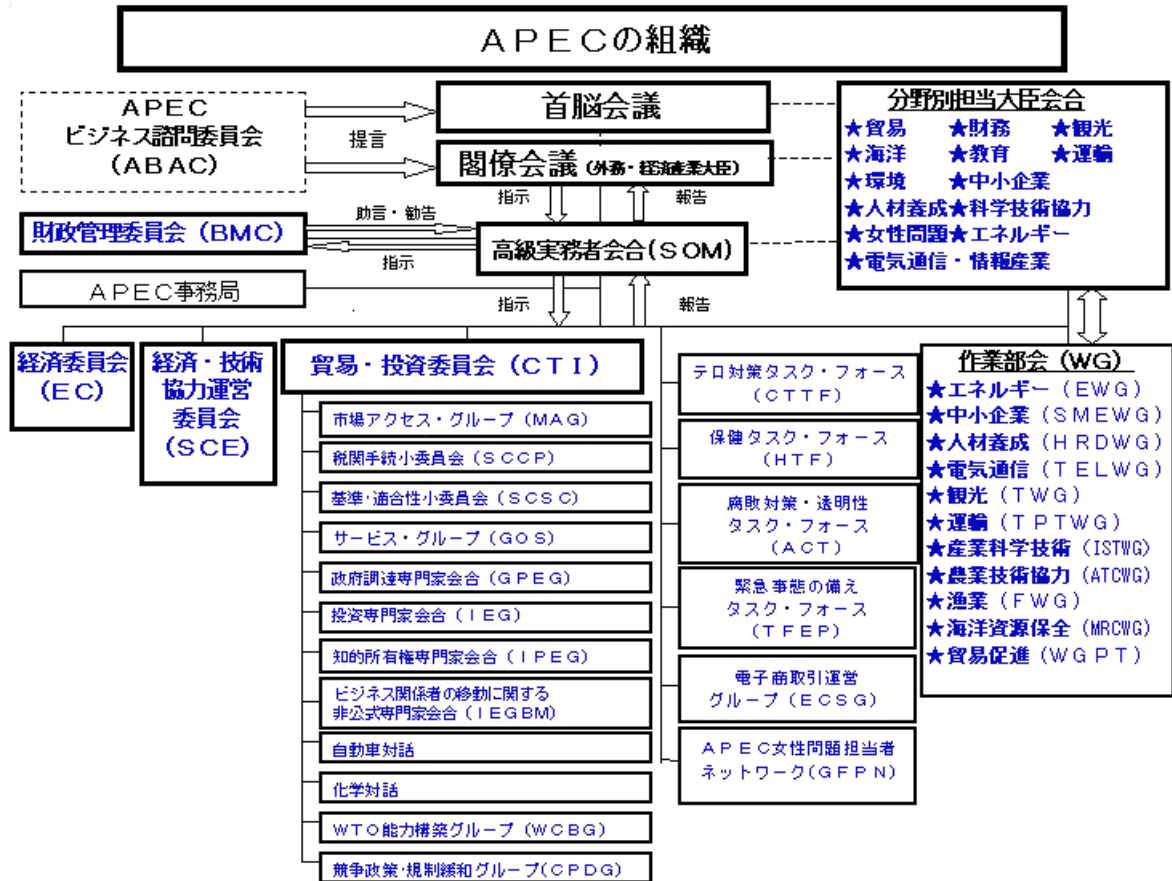
問合せ先

国土交通省 TEL 03-5253-8111(代表)
港湾局国際・環境課 国際企画室 池町補佐(内線 46642)

(参考資料)

アジア太平洋経済協力 (APEC: Asia-Pacific Economic Cooperation)

1. 組織



首脳会議

1993年より毎年1回各国首脳が参加して開催されている。

直近は第13回首脳会合が2005年11月韓国の釜山にて開催された。

閣僚会議

1989年より毎年1回、外務・経産両大臣が参加して開催されている。

直近は第17回閣僚会議が2005年11月韓国の釜山にて開催された。

運輸大臣会合

1995年6月 第1回 米国・ワシントンDC

1997年6月 第2回 カナダ・ヴィクトリア

2002年5月 第3回 ペルー・リマ

2004年7月 第4回 インドネシア・バリ

2007年3月 第5回 オーストラリア・アデレード

2009年4月 第6回 フィリピン・マニラ

2. 沿革

1989年11月 ホーク豪首相の提唱により、第1回閣僚会議開催

1994年11月 非公式首脳会議にて**ボゴール宣言**採択

2002年10月 「テロリズムに対する闘いと経済成長に関するAPEC首脳声明」等採択

3. 目的等

目的 ⇒ アジア太平洋地域の持続的発展及び開かれた地域協力の強化

活動の3本柱 ⇒ 1. 貿易・投資の自由化、2. 商取引の円滑化、3. 経済・技術協力

具体的目標 ⇒ ボゴール宣言(1994年採択)において先進国・地域は2010年、発展途上国・地域は2020年迄の域内の貿易・投資の自由化の達成。

4. 参加国・地域(21の国・地域)

日・韓・中・香港・台湾・タイ・フィリピン・シンガポール・マレーシア・インドネシア・ブルネイ・ベトナム・パプアニューギニア・チリ・ペルー・露・米・加・墨・豪・ニュージーランド

5. 組織

首脳会議、閣僚会議、高級実務者会合(SOM)、各分野ワーキング・グループ等設置

6. 交通ワーキング・グループ(TPT-WG) 港湾・海事専門家会合の活動内容

運輸大臣会合及び高級実務者会合の下部組織として交通ワーキング・グループを設置(年2回開催)

<参考:交通WGにおける専門家会合>

交通WGの代表者等会合			
港湾・海事専門家会合(MEG) (海運・港湾、海事保安、海事安全、人材育成) サブグループとして 海事保安専門家会合(MSEG) を含む	陸上交通専門家会合 (車両基準調整、交通保安、道路安全、人材育成)	航空専門家会合 (航空サービス、航空保安、航空安全、人材育成)	インターモーダル・高度交通情報システム会合 (インターモーダル、高度交通情報システム、人材育成)

必要に応じて、代表者等会合の承認を得て、各委員会の下にタスクフォース(サブグループ)を設置可能。

沿革

- 1991年10月 第1回交通WG開催
- 1996年11月 第10回交通WGにて、第1回港湾専門家会合(PEG)開催(議長:港湾局)
- 1997年4月 第11回交通WGにて、第1回海事専門家会合(MI)開催(議長:海事局外航課)
- 2004年9月 海事保安専門家会合(MSEG)設置(議長:米国)
- 2005年9月 第26回交通WG(ウラジオストク)において、港湾専門家会合と海事専門家会合が統合し、港湾・海事専門家会合(MEG)発足(議長:港湾局)
- 2006年5月 第27回交通WG(ハノイ)において、専門家会合が各輸送モード毎に再編され、MEGが保安、人材育成を含め海上輸送全般を取扱うことに決定
- MEG議長:日本(港湾局)
- MSEG議長:カナダ、副議長:タイ、オーストラリア
- 2006年9月 第28回交通WG(バンクーバー)開催
- 2007年7月 第29回交通WG(台北)開催
- 2008年3月 第30回交通WG(マニラ)開催
- 2008年8月 第31回交通WG(ペルー)開催
- 2009年7月 第32回交通WG(シンガポール)(予定)